

飼いやすく肉質の優れた新しい県産地どり

家畜部

1 背景、目的

福岡県産オリジナル地鶏として県民に親しまれてきた「はかた地どり（シャモ雄×ホワイトロック雌）」は、開発されて20年が経過するうちに、消費者や生産者から「むね肉をもう少し柔らかく」「喧噪（争い騒ぐ性質）が激しく、傷付きが多く発生するので、もっと飼いやすく」という要望が高まりました。

そこで、農業総合試験場で供給可能な在来種の雄と、「はかた地どり」生産孵化場で入手可能な肉専用種の雌を用いた多くの組み合わせ交配を行い、その中から、飼いやすく、旨味成分に優れた、新たな「はかた地どり」を選定しました。

2 成果の内容、特徴

1) シャモ×横斑ロックの雄とホワイトロックの雌を交配した新「はかた地どり」は、生産指数がこれまでのはかた地どりと同等であり、従来と変わらないコストで生産することができます（表1）。

2) 新「はかた地どり」の、出荷日齢時点での傷付き個体率は、これまでのはかた地どりよりも大きく減少します（表1）。従来型より気性がおとなしくなり、日常の飼育管理が容易です。また、生産者にとって商品化率の大幅な向上が期待されます。

3) 新「はかた地どり」では、従来型のはかた地どりに比べて、むね肉中の旨味成分であるイノシン酸の量が有意に約9%高くなり、より旨味に優れた地鶏肉へ改善されています（表2）。

3 主要なデータなど

表1 鶏種による産肉性能等

鶏種	出荷 週齢	育成 率 (%)	出荷 体重 (kg)	飼料 要求率	生産 指数	対生体歩留り		腹腔内 脂肪率 (%)	傷付き 個体率 (%)
						ムネ (%)	モモ (%)		
新「はかた地どり」	12	98.9	3.67	2.76	157	16.1	19.6	3.4	10.0**
旧 はかた地どり	12	98.5	3.51	2.67	154	16.6	19.7	2.4	38.8

- 注) 1. 各データは♂♀平均値(19~21年度)、6~9月の高温期を除く育成成績2~3回の平均値。
 2. 生産指数=100×(出荷体重×育成率) / (出荷日齢×飼料要求率)。
 3. 傷付き個体率は出荷時に背中への皮膚に傷のある個体比率(40~50羽供試)。
 4. **: 同一列内で有意差あり(p<0.01、 χ^2 検定)

表2 むね肉の肉質理化学性評価

鶏種	イノシン酸量 (mg/100g)	剪断力価 (g)	加熱損失率 (%)
新「はかた地どり」	300 *	708	13.3
旧 はかた地どり	276	1,038	13.2

- 注) 1. 供試鶏は各区雄6個体、剪断力は幅1cmの肉をレオメーター&カミソリ刃で剪断。
 2. *: 同一列内で有意差あり(p<0.05、t検定)。



図1 新しいはかた地どり(雄と雌)